

長崎県の美しつるまぢびつるつる 上五島編

「西果ての島」に「祈りの島」。五島列島は、形容詞に事欠かない魅力たっぷりの島々です。その中から今回は、中通島と若松島を主体とした上五島をご紹介します。

比較的平坦な下五島に比べ、上五島は急峻な地形になっています。このため基幹道路は山中を走りますが、海に面する区間が多く開放感のあるドライブが楽しめます。

集落の多くは平坦な海沿いから山際にかけて作られているため、集落には横道に入らなければなりません。薄曇りな車を走らせ、分岐ごとに立っている案内表示に従い道を降りていくと、目の前にはと海が広がりました。

美しさは文句なし。雲間から差す光でいつそう透明度を増した海を眺めると、魚が泳いでいるのがわかりました。地元の人々が、「沖繩の海にも負けない」と自負するのも、大きくうなずけます。快晴の日の美しさは、想像に難くありません。

すばらしい自然景観を借景に、上五島には約30の教会が分布しています。「ひとつの集落にひとつの教会がある」と言われるくらいに広く分布していて、規模やデザインも様々です。中通島の東、橋で陸

続きとなっている頭ヶ島には、西日本で唯一の石造りの教会である頭ヶ島天主堂があります。近隣で採れる砂岩を切り出して造られたもので、小規模ながら重厚感を感じます。使用されている砂岩は、信徒たちの奉仕活動により切り出され、運搬されたといえます。

上五島の教会はほとんどが海に面して建てられています。木造の中ノ浦教会は、静かな入り江のそばに建てられていて、風の日には水面に教会が映りこみ絵になる景観が見られます。

最後に中通島北端の津和崎へ。夕焼けの美しい矢堅目や、道路の両側に海が広がる絶景ポイントを過ぎると、7鈴の椿園がある津和崎椿公園に到着します。ここから小値賀町の野崎島までは目と鼻の先。この近さから、このあたりでは小値賀諸島との交流が深かったそうです。

つい教会の多さに目を奪われますが、ここには神社もお寺もあります。各人がそれぞれの信仰を守り続ける島に、今日も優しい風が吹き抜けます。

